MESSAGE

日本は、戦後、武器輸出三原則を定め、海外への武器輸出を厳しく制限してきました。

これは自ら戦争をしないことはもちろん、戦争への協力もおこなわないとし、憲法9条を掲げる平和国家としての立場を明確にするものでした。

しかし、安倍政権は、2014年にこの武器輸出三原則の「見直し」をおこない、武器輸出を大幅に緩和する「武器輸出新三原則」を閣議決定しました。

これを機に、政府は、武器輸出推進の旗印を掲げ、武器の開発や研究に対する援助の拡大、武器輸出のための法整備にむけた動きを強めています。このような国の動きを受けて、多くの日本企業が武器輸出や新たな武器開発のための体制づくりを着々と進めるなど、安倍政権の下、軍・産・学複合型経済国家となるための動きが急ピッチで進められています。

このような情勢を受け、今年の「三多摩憲法のつどい」では、東京新聞の現役記者である望月衣塑子さんをお招きし、防衛省・企業・研究者、被害者など様々な立場の方々に取材されたご経験をもとに「武器輸出と日本企業」について、お話しいただきます。

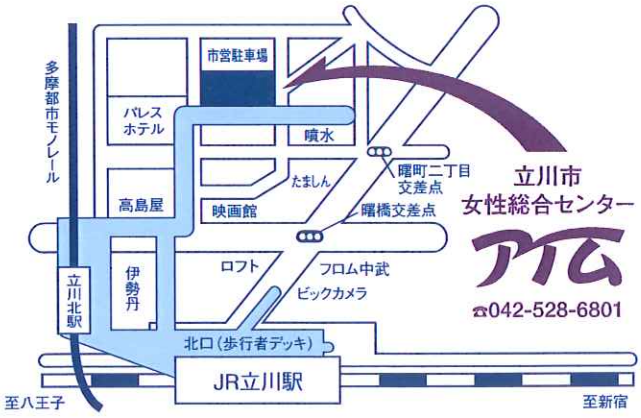
日本が武器輸出を進めること、それが平和にどのような影響を及ぼすのか、一緒に考えてみませんか。

お知らせ 開演後、すぐに望月氏のご講演となります。

講師

望月（もちづき） 衣塑子（いそこ） 氏

1975年、東京都生まれ。東京新聞社会部記者。慶応大学法学部卒業後、東京・中日新聞に入社。千葉、神奈川、埼玉の各県警、東京地検特捜部などで事件を中心に取材。2004年、日本歯科医師連盟の闇献金疑惑の一連の事実をスクープし、自民党と医療業界の利権構造を暴く。東京地・高裁で裁判担を経て出産後、経済部に復職、社会部で武器輸出、軍学共同をテーマに取材。雑誌「世界」2016年6月「国策化する武器輸出」、「武器輸出と日本企業」(角川新書)、「武器輸出大国ニッポンでいいのか」(あけび書房)、月刊誌「科学」に「安全保障技術研究推進制度と共同研究協定」寄稿。趣味は子どもと遊ぶこと。



〈連絡先〉

2017三多摩憲法のつどい実行委員会

〒190-0014 立川市緑町4-4 立川北口薬局ビル4階　三多摩法律事務所内　Tel.042-524-4321 Fax.042-524-4093